

# 祇王小学校のストップいじめアクションプラン

めざす学校

**いじめをしない、させない、許さない学校**  
～早期発見・早期対応・組織で対応～

子どものアクション

家庭や地域と連携したアクション

○児童会活動の取組

- ・全委員会による「いじめゼロ」活動の推進  
⇒いじめゼロを目指すという視点を加えて、活動を考える
- ・人権週間に向けて、全委員会による人権の視点を加えた取組を実施
- ・アルマジロ委員会を中心にアルマジロ運動の推進に努める。
- ・ふれあい委員会による仲間づくり（縦割り活動）

○仲間のことを大切に考える学校・学級づくり

- ・学級目標に「仲間のことを大切に考えること」や、「アルマジロ」に関する視点を加え、日々振り返りながら目標の達成を目指す

○家庭との連携

- ・毎月第4木曜日に「保護者対象の教育相談日」を設定
- ・PTA人権研修会の実施

○地域との連携

- ・学校運営協議会でいじめの問題への取組に関して協議
- ・登下校での見守り活動を通じて地域から見守られているという安心感を与える
- ・街頭指導の日を「あいさつ強化日」とし、地域と連携して「すすんであいさつができる子」を育てる

教職員のアクション

○いじめの早期発見

- ・毎月末に、「長欠・いじめSOSチェック」を実施し、学年主任、生徒指導担当、校長・教頭へ報告
- ・いじめについてのアンケートを実施
- ・おはなしタイムを実施し、児童理解を深める（毎学期）
- ・子どもを語る会において、職員間で子どもについての共通理解とアセスメント（毎月）

○「いじめを絶対に許さない」学校づくりに向けての共通理解・共通実践

- ・アルマジロ運動で規範意識の構築を図る
- ・日常的に「担任→学年主任→生徒指導→教頭→校長」へ「報告」「連絡」「相談」「確認」を実施し、組織対応体制の強化（記録し、情報を共有・保管）
- ・校内生徒指導研修会
- ・人権の日の放送

○いじめ発生後の基本対応について

- (1) 該当児童生徒への聞き取り
- (2) 事実確認の集約
- (3) 子ども同士の謝罪の場を設定
- (4) 保護者への説明（訪宅または保護者来校）
- (5) 全体指導〈学級・学年集会〉の開催
- (6) 場合によって、人権・いじめを題材とした道徳・学級活動等の授業
- (7) いじめ発生後、一定期間継続した見守りを行い、解消確認とする。

**アルマジロ運動**  
ア…あいさつを  
すすんでしよう  
ル…ルールを守ろう  
マ…まっすぐにくつや  
スリッパをそろえよう  
シ…時間を守ろう  
ロ…ろうかは右側を歩こう

今年度重点項目…「ア」「マ」

現状と課題

- ・自分の思いを明確に他者に伝えることが難しいところがある。
- ・善悪の判断が甘く、安易な考えや友だちの考えに流されやすいところがある。
- ・教職員は、いのちに向き合っていることの重さを日々自覚し、危機意識をもって取り組む。また、地域や家庭との協力体制を図るように努める。